

## 内部磁気圏における電流分布の推定の試み (II)

### An estimation of current distribution in the inner magnetosphere II

# 中野 慎也[1], 家森 俊彦[2]

# Shin'ya Nakano[1], Toshihiko Iyemori[2]

[1] 京都大・理・地球物理, [2] 京大・理・地磁気

[1] Dept. of Geophysics, Kyoto Univ., [2] WDC-C2 for Geomag., Kyoto Univ.

DE-1 衛星の磁場観測データを用いて、内部磁気圏の各子午面を貫く電流の平均的な 2 次元空間分布を推定することを試みた。推定には、電流は子午面を垂直に貫く直線電流であると仮定して、DE-1 の観測によって得られた平均的な磁場分布と適合するような電流分布を求めるといった方法をとった。

ただ、高緯度に関しては Birkeland current の影響が強いため、推定結果が妥当とは言い難かった。

今回は、DE-1 の磁場データ自体を用いて沿磁力線電流分布を与えることにより、Birkeland current の影響を、どれだけ小さくできるかについて検討する予定である。